





No28 腰椎の手術(LOVE法)を受ける患者様へ①
～経口補水療法～

ID @PATIENTID
氏名 @PATIENTNAME

月日	/		/		/		/				
経過	入院日		入院1日目～手術2日前まで		手術前日		手術当日(術前)				
目標	手術に対する不安が最小限である。										
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みが強い時は、坐薬や飲み薬を使うことができます。看護師までお知らせ下さい。 ・以前より使用している薬を薬剤師または看護師にお知らせ下さい。(目薬や貼り薬・塗り薬も教えて下さい。) ・抗凝固薬や抗血小板薬を飲んでいた場合は、手術の為中止します。 				<ul style="list-style-type: none"> ・必要物品のチェックを行います。 ・爪切りを行います。マニキュアなどは落としてください。 ・看護師と手術前後の流れの最終確認を行います。 ・麻酔科医の診察があります。 		<ul style="list-style-type: none"> ・指示のあった薬のみ内服します。 				
治療					<ul style="list-style-type: none"> ・眠れそうにないときは、夜9時までに看護師に声をおかけください。 		<ul style="list-style-type: none"> ・血栓予防のため、両足に弾性ストッキングを着用します。 				
検査			<ul style="list-style-type: none"> ・必要に合わせて 他の診療科の診察を入れます。 ・今まで掛かっていた診療科や予約がある時は、看護師にお知らせください。 ・毎日 14:00前後で熱や脈拍などの測定を行いません。 								
測定											
入院生活	食事	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の制限はありません。()食です。 ・治療食の必要な方は適宜変更します。 ・10階食堂へ行かれる方はお申し出下さい。 				<ul style="list-style-type: none"> ・21時以降、食事することはできません。 ・飲水は可能です。(指示のあった飲料水を摂取してもらいます) 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、食事はできません。 ・AM6時30分・AM10時 まで飲水は可能です。(指示のあった飲料水を摂取してもらいます) 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・特に活動の制限はありません。 ・痛みの様子をみながら動けます。 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px;"> <p style="text-align: center;">手術までに</p> <p>☆普段からの運動が大切です。 腰上げ運動や 足の曲げ伸ばしをしましょう。 障害の無い部分の筋肉まで衰えてしまうのを 防ぎましょう。 ☆手術後、動かないことで、血管の中で血の塊ができ、血流を阻害してしまう恐れがあります。予防のために、両方の足首をしっかり曲げ伸ばしする運動をしましょう。</p> </div>							
	清潔							<ul style="list-style-type: none"> ・シャワーにお入りください。(介助が必要な方は、看護師がお手伝いします。) 			
	リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示により手術前からリハビリを開始する場合があります。 ・術後の褥瘡予防の為、寝返り・腰上の練習をしましょう。 									
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・入院日 または 手術前日までに主治医から手術の説明があります。 ・手術同意書はサインをして手術前日までに看護師にお出ください。 ・入院診療計画書について説明します。 ・看護師より入院生活や手術前後の生活や注意事項についての説明があります。 ・薬剤師が病室に伺います。持参薬の確認をし必要時には薬剤師より薬についての説明をします。 					<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の方へ、手術についての説明があります。 ・説明の日・時間は判り次第お伝えします。 					




No28 腰椎の手術(LOVE法)を受ける患者様へ② ～経口補水療法～

ID @PATIENTID
氏名 @PATIENTNAME

月日	/		/	/ ~ /	/	/			
経過	手術日(手術後)		手術1日目	手術2日目	手術3日目	手術4～5日目	手術6日目	手術7日目	
目標	麻酔・手術後の経過に問題がない。(バイタルサインが安定し、合併症が起こらない。)								
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素マスク:麻酔科の指示があるまでつけておきます。 ・点滴:翌日夕方まで続けて行います。抗生剤の点滴も行います。 ・尿道に管が入ってきます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・手術後の消毒は基本的に必要最小限となります。 ・抗菌剤の点滴があります。終了次第、針を抜きます。 ・フットポンプを外します。 ・尿道の管を抜きます。 ・朝から手術前の飲み薬を再開します。 ・夜間眠れない時には、入眠導入剤をお出しします。 ・痛みが続く時には、痛み止めの飲み薬を使用します。看護師へ声をおかけください。 		<ul style="list-style-type: none"> ・弾性ストッキングを脱ぐことができます。 				
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・傷口近くから排液用のチューブバックが入ってきます。これは、傷の中に血液が溜まらない様にするためです。 ・血栓予防のため両足に器械(フットポンプ)を装着します。※自分自身で足首をよく動かすことが、血栓予防に重要です。 ・痛みがある時は、坐薬や注射などの痛み止めを使用できます。看護師に声をおかけください。 		<ul style="list-style-type: none"> ・朝から手術前の飲み薬を再開します。 ・夜間眠れない時には、入眠導入剤をお出しします。 ・痛みが続く時には、痛み止めの飲み薬を使用します。看護師へ声をおかけください。 						
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・帰室直後より何度か(夜中も)熱・脈・血圧などの測定を行いません。 		<ul style="list-style-type: none"> ・採血を行いません。 		<ul style="list-style-type: none"> ・採血を行います。 		<ul style="list-style-type: none"> ・採血を行います。 ・レントゲン撮影があります。 		
測定									
入院生活	食事	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後は禁飲食です。ただし、水分は酸素終了後または医師の許可が得たら、摂取できます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・朝から食事が始まります。 					
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上で寝たまま安静となります。ギャッジアップは30度までです。体の向きを変えるときなどは看護師がお手伝いします。 ・褥瘡予防・腰痛の為、適宜体の向きを変えます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コルセットを装着し、歩行器を使用して歩くことができます。 ・自分で寝返りがうてます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・痛みが落ちついていれば10階にある食堂を使用していただくことができます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今日から院内を自由に歩行できます。 ・歩行状況が安定していれば、医師の指示で独歩も可能です。 	
	清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・排便の際はベッド上で差し込み便器を使用します。 		<ul style="list-style-type: none"> ・体を拭いたり、着替えたりなど身の回りのお手伝いをさせていただきます。 				<ul style="list-style-type: none"> ・傷口を防水テープで保護してシャワーに入れます。 	
	リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドサイドに理学療法士が伺い、リハビリを行います。 ・リハビリ以外でもベッド上で出来るリハビリを始めましょう。 ・両足の足首を曲げ伸ばしする運動を始めましょう。気付いた時にできるだけ多く行いましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリセンターでリハビリを行います。 					
説明	<p>手術後医師より手術について説明をいたします。 術中、術直後は連絡が取れるようにしてください。原則、手術室か病棟でお待ちください。</p>				<p>今後の方針について、ご家族で話し合われましたか？ 今後、自宅に帰る際の自宅の整備について、看護師にご相談下さい。 自宅への退院が困難と思われる場合も、看護師にご相談下さい。</p>				

No28 腰椎の手術(LOVE法)を受ける患者様へ③ ～経口補水療法～

ID @PATIENTID
氏名 @PATIENTNAME

月日	／	／	／	／	／		
経過	手術8日目	手術9日目	手術10日目	手術11日目	手術12日目		
<p>処置</p> <p>治療</p>	<p>・傷口の消毒は医師が適宜行っていきます。</p> 		<p>☆退院後の日常生活について☆ 腰椎の手術を受けた患者様は、腰に負担のかからない生活を心がけましょう。</p> <p><u>正しい寝方</u>:正しい姿勢で寝る為には、固めの布団が必要です。 横に寝る場合は、適度に膝を曲げると背中が平らになり、痛みが強い時に良い。</p> <p><u>上向きに寝る場合</u>:膝の下に枕を入れて、膝を適度に曲げるのが良い。 起きる時は、一度横向きになって起きる。</p> <p><u>椅子に座る場合</u>:腰を股関節より少し高めにして、大腿上面が水平か少し高めになるようにすると良い。また、長い間この状態を続けると疲れ易いので、足の下に何か台になるような物を置るか足を交互に組むと良い。</p> <p><u>物を持ち上げる場合</u>:膝を曲げ体に近づけ、臍周囲に力を入れる。出来れば片膝をついて行う。物を持つ場合は、ウエストラインより高くせず、少し前かがみで、膝を少し曲げると良い。</p> <p><u>正しい立ち方</u>:お腹に力をいれ上半身をまっすぐにして、前かがみにならず頭に物を置いて歩くような状態にすると良い。 長時間立っている時には、片側の足を台に乗せて股・膝を屈曲位にしたり、台がない時は、時々しゃがむようにすると良い。 *起座位で前かがみになる場合、必ず膝を軽く曲げて行う。</p> <p><u>正しい姿勢をつくる為の注意点</u> ☆腰だけを曲げる動作をしない。膝の動きを利用すると良い。 ☆お臍よりも高く重い物を持ち上げない。 ☆立っている時も、座っている時も、寝ている時も、頭が脊柱の延長線上にあるようにすると良い。</p>				
<p>検査</p> <p>測定</p>							
<p>入院生活</p> <p>食事</p> <p>活動</p> <p>清潔</p> <p>リハビリ</p>	<p>・病院内であれば自由に歩行できます。 ・手術後7日目以降は、希望に応じて退院可能です。 主治医に御相談下さい。</p>						
							
<p>説明</p>	<p>ご家族の方へ</p> <p>時間が許すときは、リハビリでの様子を是非ご覧下さい。 リハビリの時間については、看護師にご確認下さい。</p>			<p>医師より退院前の説明をします。</p> <p>☆次回外来受診：あり・なし ☆次回外来受診日： 月 日() 時 分～ ☆診察前のレントゲン：あり・なし</p> <p>・退院前までに 薬剤師より必要な薬についての説明をします。 ・退院前までに 理学療法士より退院後のリハビリについての説明をします。</p> <p>退院に際して、気になる事があったら、医師・看護師・理学療法士・薬剤師などにお尋ね下さい。 担当者から、説明させていただきます。</p>			

・退院に向けて、最終的な日程の調整を行います。御家族の予定などをお教え下さい。

・退院後の日常生活についての注意点を説明させていただきます。

・退院の際に必要なとする薬などの希望がある方は主治医か看護師へお話し下さい。

